



近江路散歩

渡辺 守 順

歴史いろいろする山と峠

長い歴史は古しが遺物として残さない。特徴のあるものを挙げる。

(1) 古墳
(イ) 石舞台古墳は巨石文化のシンボル的存続。東側の細川谷から造られたもので、構造は近代末王室的にみてもしかりしている。玄室の天井石はむかし狐が舞台がわりにしたのである。

石舞台」という名がついたという。玄室の底には左石壁から奥壁の方に集水し石室の中央を「めくら」暗渠として通すの真ん中を通じて排水できるようになつてある。

玄室の長さ七・五七メートル、幅一・五五メートル、高さ約二・四メートル。

(ロ) 貞浦古墳は玄室長さ約六メートル、幅約一・五メートル、中には剥抜式家形石棺が台

長い歴史は古しが遺物として残さない。特徴のあるものを挙げる。

(1) 古墳
(イ) 石舞台古墳は巨石文化のシンボル的存続。東側の細川谷から造られたもので、構造は近代末王室的にみてもしかりしている。玄室の天井石はむかし狐が舞台がわりにしたのである。

石舞台」という名がついたという。玄室の底には左石壁から奥壁の方に集水し石室の中央を「めくら」暗渠として通すの真ん中を通じて排水できるようになつてある。

玄室の長さ七・五七メートル、幅一・五五メートル、高さ約二・四メートル。

(ロ) 貞浦古墳は玄室長さ約六メートル、幅約一・五メートル、中には剥抜式家形石棺が台

古墳奇石の群れ

飛鳥断片

桑原守也

②

石の上に前後二個安置されているのが見える。

(ハ) 天武・持統内陵古墳、御夫婦の合葬墳である。文麿年間(686-697)に盗掘され、「明月記」や「阿不幾之山陵記」に石室は大理石で天井

文化

御夫婦の合葬墳である。文麿年間(686-697)に盗掘され、「明月記」や「阿不幾之山陵記」に石室は大理石で天井



統帝は何故火葬されたかについて梅原先生は「芸術新潮」所載「私見高松塚におもしろい推理」をさせておられる。

(ト) 中尾山古墳

(チ) 高塚古墳

(リ) 雉子塚古墳は他の古墳と異り、入口が二つある姿が両側に見えた。

(イ) 川原寺。弘福寺塔跡の石

(ウ) 雉子塚古墳は他の古墳と異り、入口が二つある姿が両側に見えた。

(エ) 岩屋山古墳は飛鳥駅のすぐ西側、駅ホームからも墳の小木がみえている。列車待合にかかる木がみえている。昭和三十一年ころ訪れたときには清掃がゆきとていて。

(オ) 岩屋山古墳。石室の細かい装飾につづく玄室は中央に壁

を設けて東西二室になつている。柱の下に花崗岩製の立派な礎石群があるが、有名なのは本堂周辺のメノウといわれている大理石の礎石である。遠く洞川方面から運ばれていた。

(ハ) 積善寺。四天王寺式伽藍配置の五重塔中心柱礎石。柱座とな

る彌り込みが印象深い。

(ロ) 定林寺伽藍式は法隆寺式であつたらしい。沢山の礎石が残されている。

(ハ) 積善寺。四天王寺式伽藍配置の五重塔中心柱礎石。柱座とな

る彌り込みが印象深い。

(ロ) 定林寺伽藍式は法隆寺式であつたらしい。沢山の礎石が残されている。